

マイ・タイムラインを作りました



マイ・タイムラインとは

台風や大雨などが接近して風水害の危険性が高まっている場合に、
自分自身と家族がとるべき行動を時間の流れに沿って事前に決めておく、
個人の避難行動計画 です。



- 水害に関する知識を習得できます。
(気象情報、避難情報の意味、避難に必要な情報の入手方法、河川のはん濫に関する知識など)
- いざという時に、あわてずに行動できます。
風水害の発生は、ある程度予測することができるので、あらかじめ作っておくと、被害発生する前に避難行動をとることができます。

【高齢者世帯の場合の事例】

マイ・タイムライン作成方法		幸手 家のマイ・タイムライン				周囲の状況
		家族構成	名前	年齢		
		夫	幸手 幸夫	75		
		妻	幸手 幸子	70		
経過時間	3日前 (台風発生)	2日前	1日前	雨・風が時間とともに強くなる		0時間前
行政からの連絡	台風予報 警戒レベル 1相当	大雨注意報 洪水注意報 警戒レベル 2相当	大雨警報 洪水警報	警戒レベル 3 発令 高齢者等避難	警戒レベル 4 発令 避難指示	警戒レベル 5 発令 緊急安全確保 大雨特別警報
マイ・タイムライン	事前にしておくことリスト 【例】避難経路を確認/ペットの避難に必要な準備 <ul style="list-style-type: none"> ● 気象情報の確認 ● ハザードマップで避難経路の確認 ● 雨戸等の補強 ● 持出品の準備 ● 息子夫婦に連絡 (今後について) ● 弟に連絡 (避難の可能性) ● 体温や健康状態の確認 		避難するタイミングを記入しよう ▶ 避難開始 → 警戒レベル3 <ul style="list-style-type: none"> ● 息子夫婦に声をかけ、息子夫婦と一緒に弟の家へ避難開始 ● 道路冠水が発生している箇所はよけて避難する 		避難先を記入しておこう (複数の場所を想定しておこう) <ul style="list-style-type: none"> ● 警戒レベル4までに全員で弟の家に避難完了 ● (弟の家が不可な場合、〇〇小学校へ) 	
	逃げ遅れた場合の命を守るための最善の行動を記入しておこう 少しでも高い所へ避難する					
事前の確認ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ● 浸水する深さ (5.0~10.0) m ● 河川との距離 (800) m ● 最寄りの避難場所 (〇〇小学校) までの距離 (1500) m と時間 (20) 分 ● 想定避難先 ① (弟の家) まで (90) 分 ● ② (〇〇小学校) まで (20) 分 ● 避難経路は洪水時危険箇所 (アンダーパスなど) を通らないルートにする 				情報入手先	【我が家の避難スイッチ】 警戒レベル (3) が発令されたら (弟の家に避難) する
気象情報 気象庁ホームページ 埼玉県防災情報メール 川の水位情報 埼玉県川の防災情報ホームページ 埼玉県川の防災情報メール 避難情報 テレビ、市メール配信サービス、市ホームページ、防災無線		【我が家の避難スイッチ】 警戒レベル (3) が発令されたら (弟の家に避難) する				

「幸手市洪水ハザードマップ」を見て、自宅などの浸水想定状況や避難先などを確認します。下記の内容と、右の記入例を確認・整理しながら、裏面のマイ・タイムライン記入シートに書き込みましょう。



- 1 「幸手市洪水ハザードマップ」で、自宅のある場所にはどのような災害リスク(浸水する深さなど)があるのかを確認しましょう。
- 2 複数の避難先を検討し、安全性の高い避難経路と移動時間を調べましょう(平時に実際に避難先まで移動して確認しましょう)。
- 3 家族構成によって避難開始のタイミングは異なります。発令される避難情報にとらわれず、早めの避難開始を心がけましょう。

体調が良くない状態で立退き避難が必要な場合は、親族やかかりつけの病院などに相談しましょう。

持出品の中身は防災用品と「その日の生活に欠かせない物」です。高齢者の場合は、持病の薬(お薬手帳)、老眼鏡などを準備しましょう。

高齢者だけの避難は避け、親族や近所の人と一緒に避難しましょう。

※「避難行動要支援者名簿」に登録している人は、警戒レベル3をめぐりに支援者(地域の方など)と連絡をとりましょう。

その他の例についてはこちら



マイ・タイムライン記入シートは裏面にあります